



イーレックス株式会社[9517]

再生可能エネルギーをコアに
電力新時代の先駆者になる

2021年3月期 第3四半期
決算補足説明資料

2021年2月10日

将来見通しに関する注意事項

本資料は当社グループの企業情報などの提供の為に作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積り、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料に関するお問い合わせ先
イーレックス株式会社 IR広報室
Mail: ir.info@erex.co.jp

決算概要

～2021.3期 第3四半期～

2021.3期第3四半期ハイライト(累計)

(単位：億円)	'20.3期 第1～3四半期 累計(実績)	'21.3期 第1～3四半期 累計(実績)	'21.3期 通期 (計画)	対前年同期 増減率	通期計画 進捗率
売上高	647.6	756.5	958.8	16.8%	78.9%
営業利益	72.1	69.2	83.1	▲3.9%	83.4%
経常利益	67.9	69.2	84.6	1.8%	81.8%
純利益*	36.2	39.5	50.8	8.9%	77.7%

*親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

(単位：億円)	'20.3期 第3四半期 (実績)	'21.3期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率
売上高	232.7	283.4	21.8%
営業利益	16.5	22.0	33.3%
経常利益	14.3	23.0	60.6%
純利益*	5.7	12.7	123.0%

*親会社株主に帰属する四半期純利益



① 2021.3期第3四半期は増収増益(対前年同期比)

② 小売販売電力量は約844GWh(前年比+34.3%)

- ・コロナ影響により電力業界全体の電力需要は減少
- ・EGMを中心に販売強化、販売電力量は順調に増加、計画を上回る

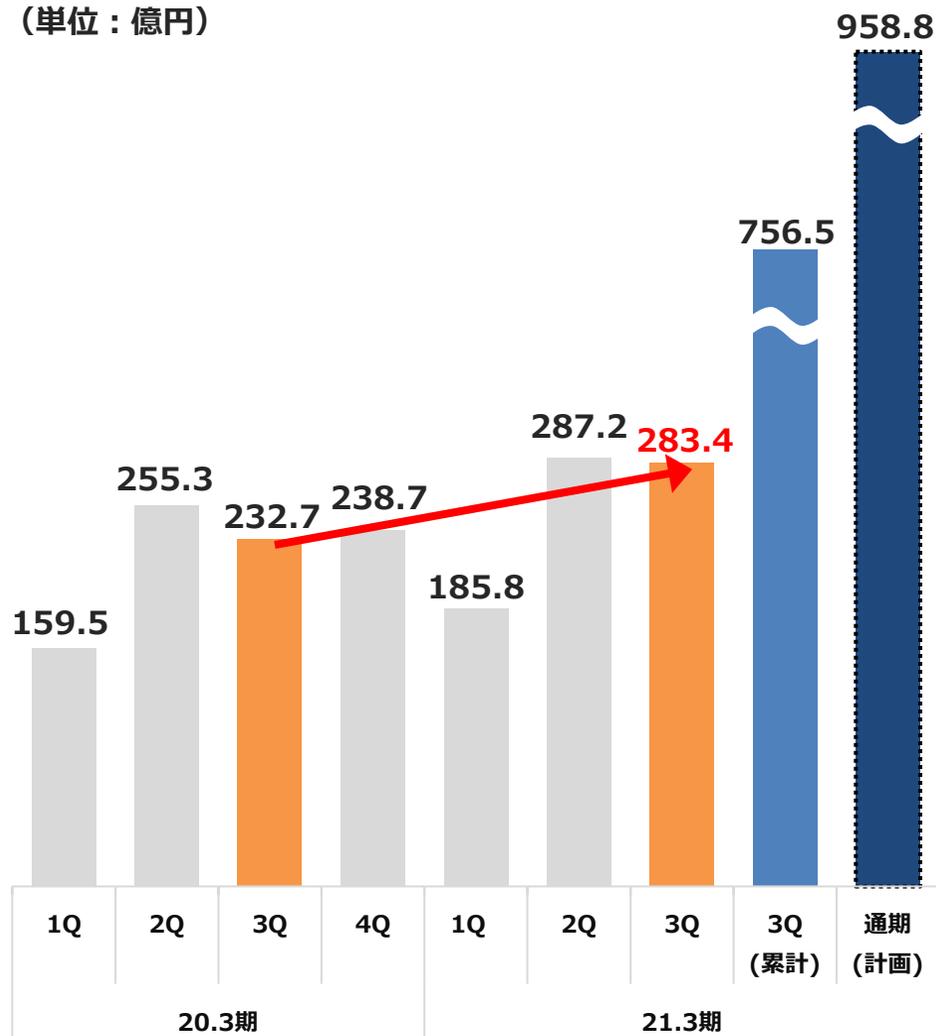
③ 各発電所は定期修繕を実施。順調に稼働

- ・土佐、佐伯、大船渡は計画通り稼働
- ・豊前も順調に稼働し、収益に貢献

④ 相対電源の契約見直し等により調達コストは改善

- ・燃料価格下落に伴う燃料費調整等の影響から販売価格は低下。相対電源の契約見直し等により、調達コストを改善
- ・冬期に向けて、相対電源を積み増し。12月中旬以降のJEPX価格の高騰には、相対電源で対応

(単位：億円)



売上高 **283.4** 億円

前年同期比 +21.8%

高圧小売

- 売上高増(同+6.2%)

低圧小売

- 売上高増(同+28.4%)
- 需要家件数増加 約21万7千件 (同+7万4千件)

卸売

- 調達電源を相対取引や市場にも活用

豊前発電所

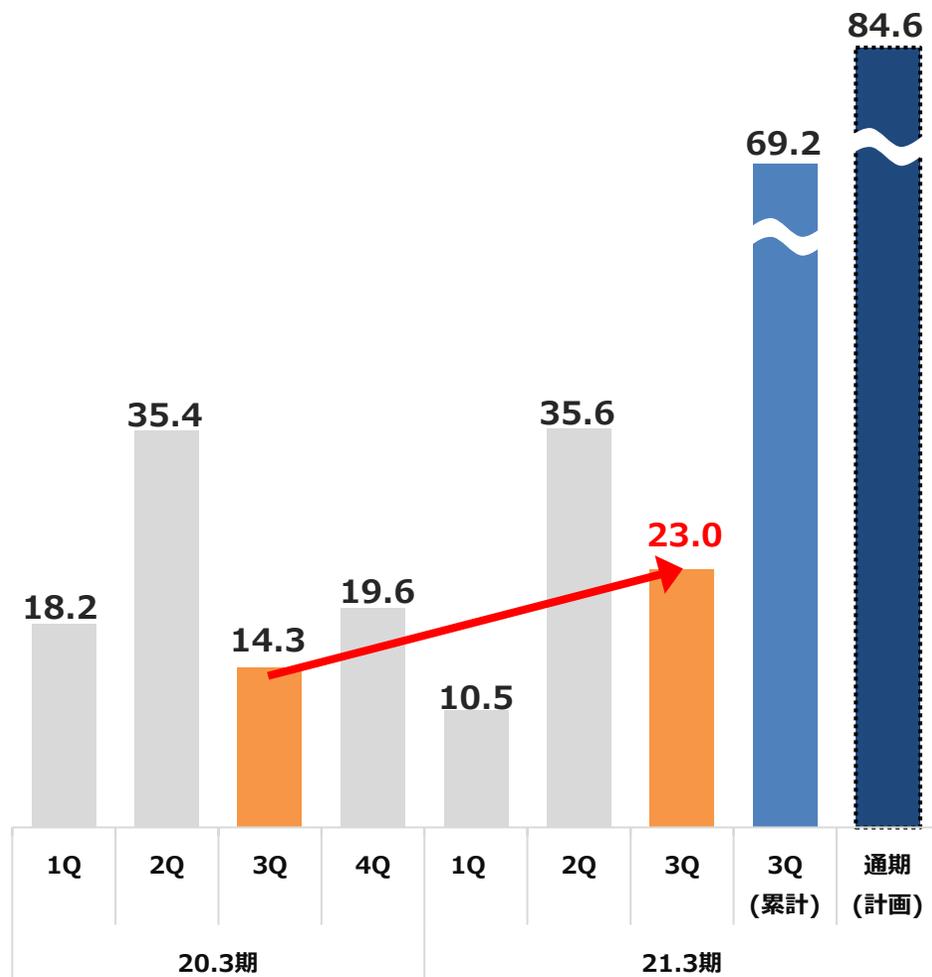
- 他社に全量売電

※大船渡発電所

- イーレックスが全量受電

2021.3期第3四半期 経常利益

(単位：億円)



経常利益 **23.0** 億円

前年同期比 +60.6%

- 販売電力量は増加したものの、販売単価は低下
- 相対電源の一部見直しにより、調達コスト改善
- 10月、11月は低位に推移したJPEXを有効に活用
12月中旬のJEPX価格高騰には、相対電源で対応し、
調達コスト上昇を回避
- 豊前は順調に稼働し、収益に貢献

営業利益率：7.8% (同：+0.7%)

経常利益率：8.1% (同：+2.0%)

■ 販売電力量は前年度を上回り、計画も上回る

- ・ 販売電力量前年同期比31.7%増
- ・ 使用量の大きい需要家への営業強化等の施策により、販売電力量は計画を上回る

【高圧】 販売電力量

(MWh)

700,000

600,000

500,000

400,000

300,000

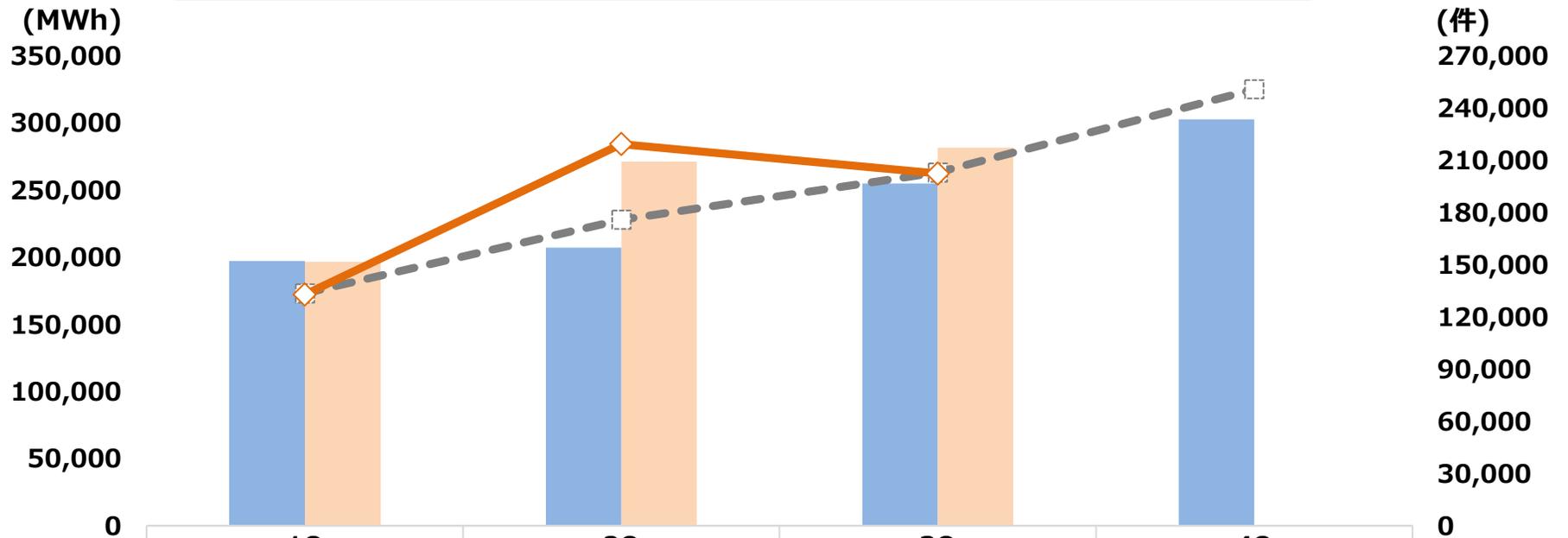
	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 販売電力量(計画)	435,681	610,558	538,967	599,198
■ 販売電力量(実績)	461,719	647,954	582,168	

2021.3期第3四半期ハイライト(低圧小売)

■ 販売電力量はおおむね計画通り、件数は計画を上回る

- ・ 販売電力量前年同期比40.4%増、件数約7万4千件増
- ・ 「エバーグリーン・リテリング」は、新規アライアンスの好調なスタート、主要パートナーへの販促キャンペーン実施により件数増加
- ・ 「沖縄ガスニューパワー」は代理店営業により順調に進捗

【低圧】 販売電力量、件数

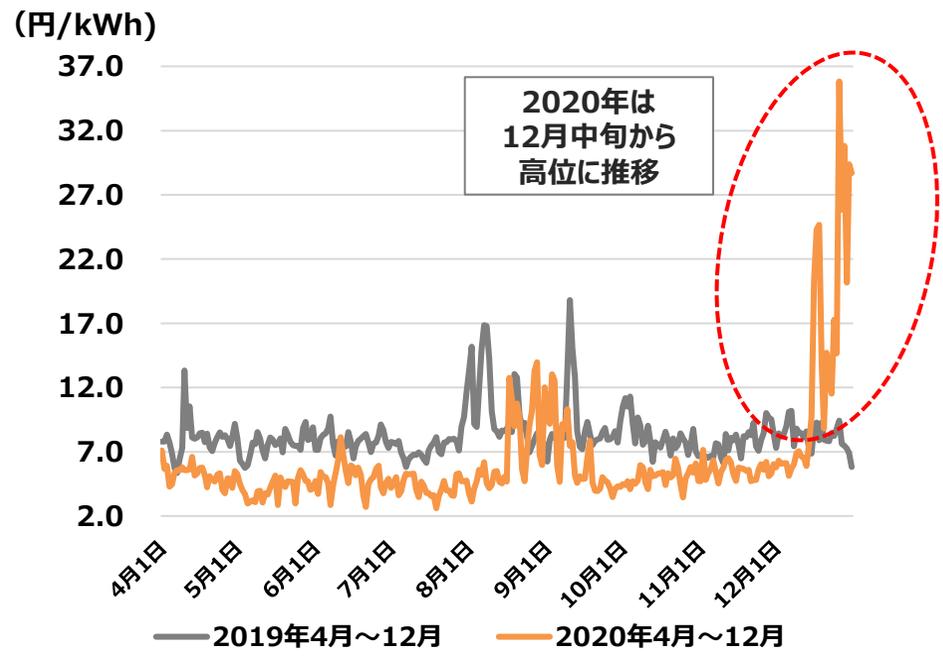


	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 件数(計画)	152,113	159,849	196,764	233,658
■ 件数(実績)	151,451	209,368	217,389	
■ 販売電力量(計画)	173,157	227,986	263,250	325,228
■ 販売電力量(実績)	172,104	284,339	262,417	

2021.3期第3四半期 電源調達構成

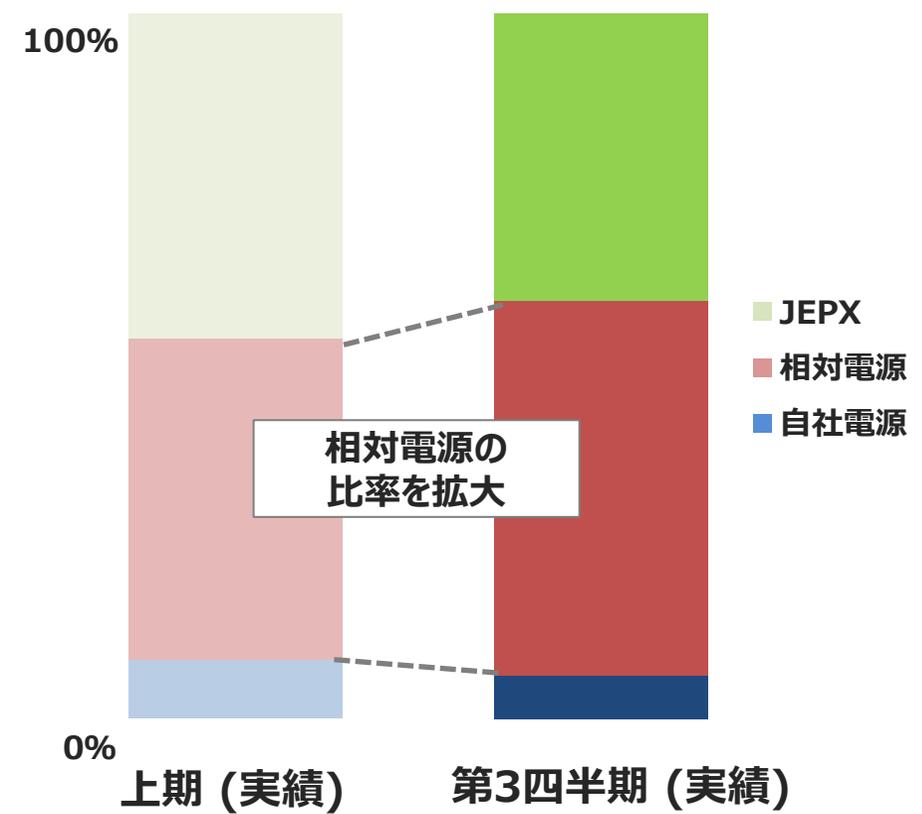
- 2020年10月、11月のJEPX価格は、コロナ影響による需要減により全国的に低位で推移
(前年比10月▲3.1円/kWh、11月▲2.1円/kWh)
JEPXの活用と相対電源の見直しで、調達原価の低減を図る。冬期に向けて、相対電源を積み増し
- 2020年12月中旬～末のJEPX価格は、寒波による需要増、燃料在庫の減少に伴うLNG火力の出力低下等により、全国的に高位で推移(前年比12月+5.7円/kWh)。相対電源を活用し、調達コストを抑制

JEPX価格推移 (システムプライス)



(円/kWh)	上期平均	10月平均	11月平均	12月平均
2019年	8.4	8.2	7.7	8.2
2020年	5.3	5.1	5.6	13.9

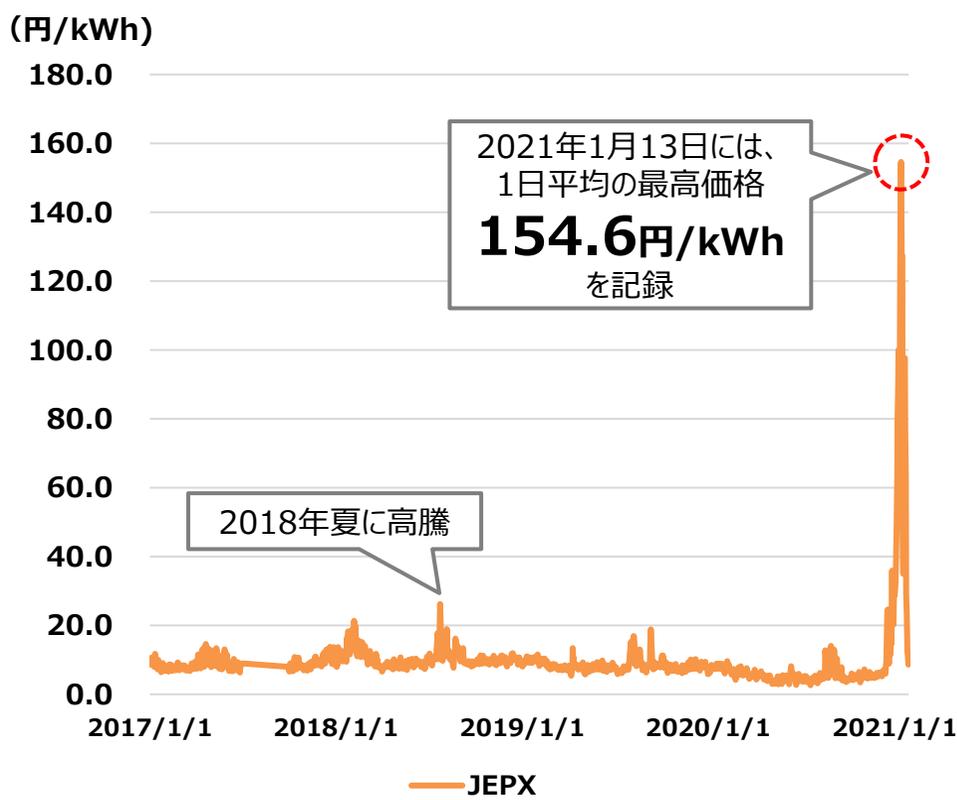
調達割合 (上期、第3四半期)



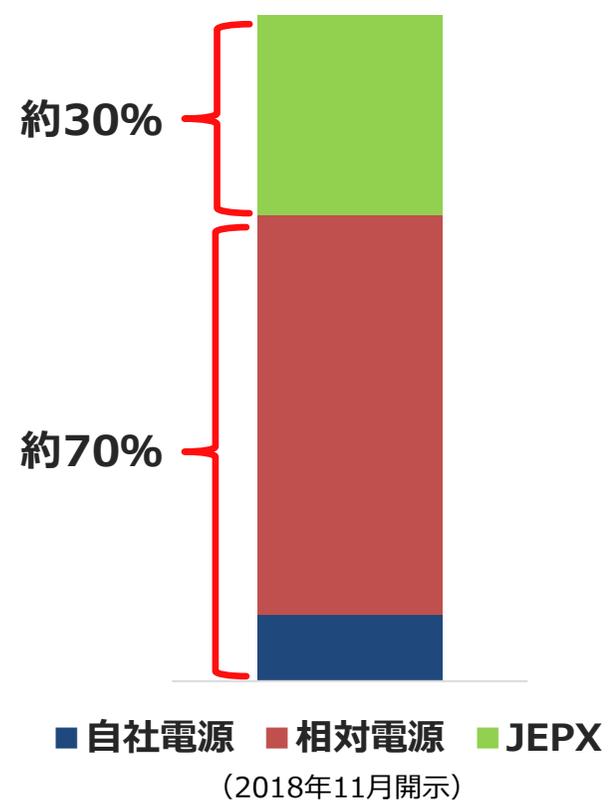
電源調達についての考え方

- JEPXは価格のボラティリティが大きい
2019.3期第2四半期でのJEPX価格高騰を受け、第3四半期より、安定電源である相対電源を拡充し、JEPX依存度を下げる調達方針に変更(自社・相対で70%)
- 上記を踏まえつつ、JEPXの動向を勘案して計画的にJEPXからの調達量を増減するオペレーションを実施してきている

JEPX価格推移 (システムプライス)



電源調達方針

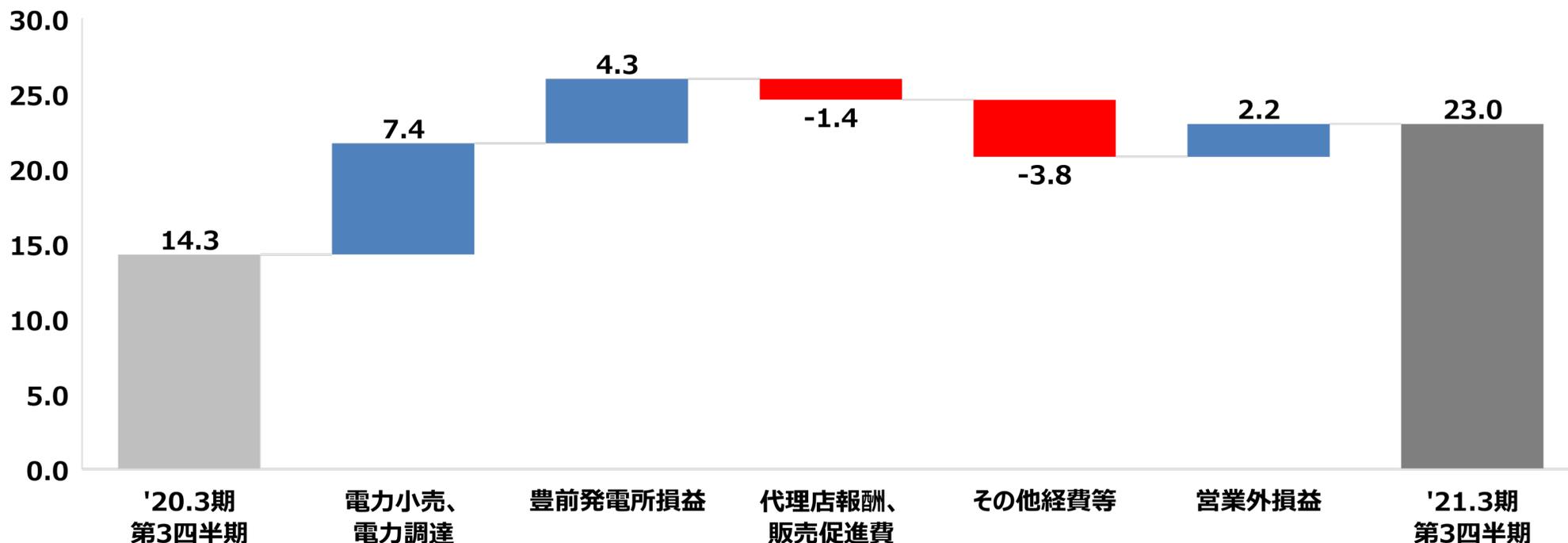


2021.3期第3四半期の前年同期比による増益要因

- 競争に伴う値下げ、燃料調整等により販売単価は低下。販売電力量の増加はあるが、小売りの収益は減
- 電源調達においては、JEPXの有効活用と相対電源の見直し等により、調達コストは大きく改善
- 豊前は順調に稼働し、収益に貢献
- 経費の節減は継続しているものの、販売強化、業容拡大に伴い販管費と人件費等は増加

経常利益

(単位：億円)



連結貸借対照表の概要

(単位：億円)



	2020.3期末	2021.3期 第3四半期末		
		実績	増減	主な増減要因
流動資産	362	504	141	<ul style="list-style-type: none"> 新株予約権の行使による預金の増加 売上増加に伴う売掛金の増加
固定資産	684	691	6	
資産合計	1,047	1,195	148	
流動負債	258	266	8	
固定負債	446	446	0	
負債合計	705	713	8	
株主資本	241	386	145	<ul style="list-style-type: none"> 新株予約権の行使による資本増強 四半期純利益
評価・換算差額等	19	8	▲11	
非支配株主持分	81	87	5	
純資産合計	342	482	139	
現金及び預金	162	266	104	<ul style="list-style-type: none"> 新株予約権の行使による預金の増加
有利子負債	513	495	▲17	
自己資本比率	25.0%	33.1%	8.2%	<ul style="list-style-type: none"> 新株予約権の行使による資本増強

電力 小売

現在の施策を積極的に推進し、引き続き販売電力量の増加を見込む

【高圧】

- 販売電力量拡大に向けて、使用量の大きい需要家への営業強化。CO₂フリープランの拡大を図る
- 4Q以降は販売単価は燃調も含め下げ止まる見通し

【低圧】

- 販売パートナーの選択と集中を行うとともに、付加価値サービス (CO₂フリープラン)も拡大

電源 調達

- 相対電源の一部見直しにより調達コスト改善
- 冬期に向けて相対電源を積み増しし、調達の安定化を図る

発電

既存発電所

- 順調稼働に向け、安全・安定運転を徹底

建設中発電所(沖縄) 沖縄における電力調達の課題を解消

- 2021年7月稼働に向け、需要を拡大を図る

沖縄中城バイオマス発電所 建設状況

- 2021年7月営業運転開始に向けて、計画通り進捗
- 沖縄地域は顧客拡大のポテンシャルが高い。本発電所は安価かつ安定した電源として期待が大きい



近景(2021年1月撮影)



遠景(2021年1月撮影)



完成予想図

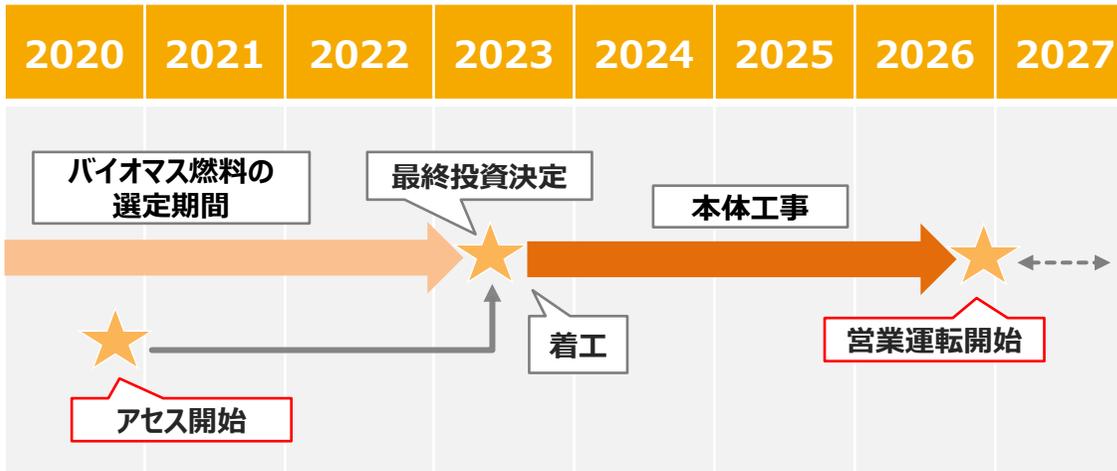
発電出力	4.9万kW
FIT単価	24円/kWh (20年間)
燃料	PKS、木質ペレット
当社出資比率	45%

Non-FIT大型バイオマス発電プロジェクトの進捗

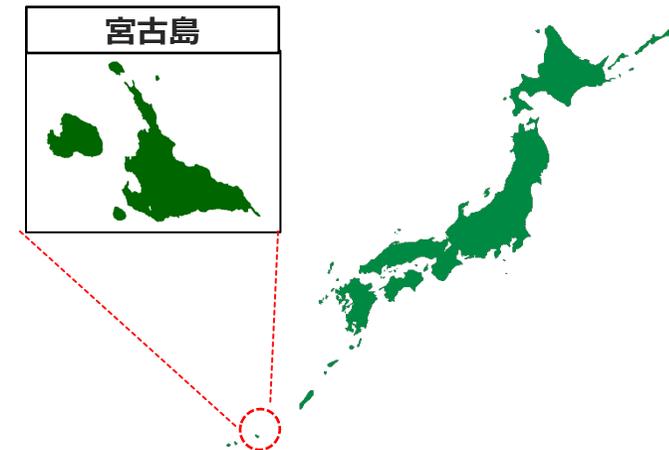
- 世界最大級のNon-FIT大型バイオマス発電プロジェクトは、環境アセスメントの手続きを開始
- Non-FIT大型バイオマス発電所向け燃料として、燃料用ソルガム(ニューソルガム)を開発中
- その一環として、ニューソルガムによる世界初の発電実証試験を、本年5月に沖縄県宮古島にて実施するべく、準備中

大型バイオ実現に向けた進捗

- 送電系統接続の回答は10月30日に受領済み
- 建設予定地は「新潟県 聖籠町 東港近郊」で決定
- 環境アセスメントは手続き開始
- バイオマス燃料は新燃料「ニューソルガム」及び木質ペレットで検討

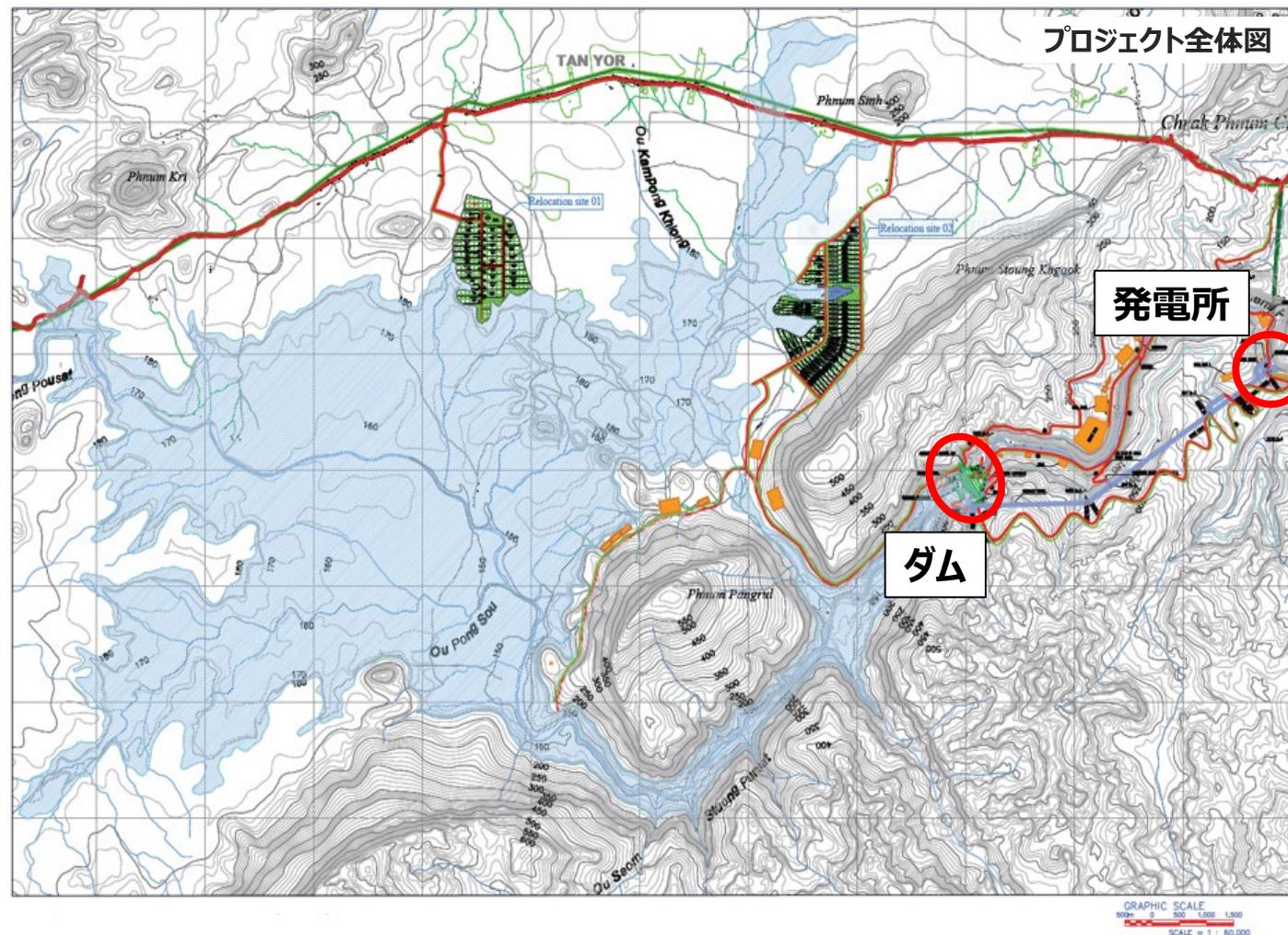


宮古島にて実証試験準備中



カンボジア水力発電所 建設状況

- 準備工事实施中。2023年度中の営業運転開始に向けて、計画通り進捗
- 住民の移転先住居建設中。カンボジア国の認可が下り次第、住民移転開始



プロジェクト全体図

全体写真(2021年1月撮影)



移転先住居



erex

ENERGY RESOURCE EXCHANGE